

第214回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成26年1月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,565	-1.10	-0.26	4,127	0.29	-0.14
東部地区	14,251	-0.43	-0.07	5,699	0.03	0.00
西部地区	10,384	-1.18	0.05	3,984	0.12	0.02
駅南地区	6,344	-0.39	-0.22	2,760	-0.07	-0.18
半田地区	3,691	-0.24	-0.29	1,398	-0.35	-0.14
横山地区	5,582	-1.60	-0.14	1,938	-0.81	-0.25
茨目・田尻地区	7,025	-0.09	-0.04	2,475	2.14	0.04
荒浜地区	5,001	-1.12	-0.15	2,007	-0.44	-0.09
その他地区	19,493	-1.80	-0.15	7,133	-0.39	-0.15
西山町地区	5,979	-2.36	-0.28	2,118	-1.62	-0.14
高柳町地区	1,688	-4.19	-0.29	788	-2.35	-0.63
柏崎市計	89,003	-1.17	-0.14	34,427	-0.12	-0.10
刈羽村	4,794	-1.45	-0.02	1,566	-0.57	-0.06
小国地区（長岡市）	5,919	-2.34	-0.23	2,123	-0.79	-0.09
出雲崎町	4,851	-2.09	-0.26	1,768	-1.17	-0.16
合計	104,567	-1.30	-0.14	39,884	-0.22	-0.10

（資料出所：柏崎市、各市町村）

人口動向は前年同月比では、すべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で1,061人、1.17%、刈羽村で71人、1.45%、小国地区(長岡市)で、142人、2.34%、出雲崎町で104人、2.09%とそれぞれ減少しており、全体では1,378人、1.30%の減少となっている。また、前月比においても、柏崎市で127人、0.14%、刈羽村で1人、0.02%、小国地区で14人、0.23%、出雲崎町で13人、0.26%減少しており、全体では155人、0.14%減少している。一方、世帯数は、前年同月比では、柏崎市で43世帯、0.12%、刈羽村で9世帯、0.57%、小国地区で17世帯、0.79%、出雲崎町で21世帯、1.17%減少したことから、全体では90世帯、0.22%の減少となった。また、前月比においては、柏崎市で37世帯、0.10%、刈羽村で1世帯、0.06%、小国地区で2世帯、0.09%、出雲崎町で3世帯、0.16%減少した結果、全体では43世帯、0.10%減少している。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,465		30.22		-2.72	
月間有効求職者	1,717		-3.26		4.82	
月間有効求人倍率	0.85	1.12	0.22*	0.23*	-0.07*	0.01*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,465人と前年同月比で340人、30.22%の増加となり、前月比では41人、2.72%減少している。

月間有効求職者数は、1,717人と前年同月比で58人、3.26%減少し、前月比では79人、4.82%増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.85倍と前年同月比で0.22ポイント上回り、前月比では0.07ポイント下回っている。なお、県平均1.12倍と比べると0.27ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が607人と前年同月比で98人、19.25%増加し、月間新規求職者数が553人と前年同月比で28人、4.82%減少した結果、月間新規求人倍率は1.10倍となり、前年同月の0.88倍に比べて0.22ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成25年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	13	4	-1	345	53
共 同 住 宅	0	-4	-1	13	-15
事 務 所	1	0	1	8	4
作 業 所・工 場	0	-1	0	4	-4
営 業 建 物	2	1	2	18	1
公 共 建 物	0	0	0	3	0
そ の 他	2	-3	-2	96	-20
合 計	18	-3	-1	487	19

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が18件と前年同月比で3件の減少となり、前月比でも1件減少している。工種別内訳の増減をみると、一般住宅(併用)が前年同月比4件の増加となり前月比では1件減少している。共同住宅は前年同月比で4件減少しており、前月比でも1件減少している。なお、工種全体の申請内容は、新築が16件となっており、また一般住宅(併用)13件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況は、市内施工業者が4件(うち新築2件)、市外施工業者が9件(うち新築9件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,771	0.34	-0.06	30,154	-4.04	45.25
電 力	10,045	-3.13	-0.13	40,241	1.05	5.68

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で224口、0.34%増加し、前月比では、46口、0.06%減少している。一方、電力においては、前年同月比で325口、3.13%減少し、前月比でも14口、0.13%減少している。

使用量は、電灯が前年同月比で1,272kwh、4.04%減少し、前月比では、9,395kwh、45.25%増加している。一方、電力においては、前年同月比で422kwh、1.05%増加し、前月比でも、2,163kwh、5.68%の増加となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,671,158	-7.17	29.72	697,498	-2.19	4.02
営 業 用	333,853	-6.43	31.07	110,166	-3.55	0.56
工 業 用	889,280	1.62	7.82	106,768	-0.47	-0.99
官 公 学 校 用	722,469	-7.64	31.77	72,876	-7.47	2.75
そ の 他				0	-100.00	-100.00
合 計	3,616,760	-5.18	24.03	987,308	-2.58	2.96

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で197,705m³、5.18%減少し、前月比では700,824m³、24.03%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比は工業用を除く用途で減少しており、前月比では、すべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で26,171m³、2.58%減少し、前月比では、28,416m³、2.96%増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では、すべての用途で減少しており、前月比では、工業用、その他で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	75,470	2.92	-10.51	78,804	1.59	-9.56
西 山	33,494	5.33	-11.39	29,700	3.32	-16.01
米 山	14,050	3.63	-17.91	13,301	0.64	-18.82
合 計	123,014	3.65	-11.66	121,805	1.90	-12.30

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で4,336台、3.65%増加しており、前月比では16,242台、11.66%減少している。

一方、出口においては、全体では前年同月比で2,280台、1.90%増加し、前月比では、17,087台、12.30%減少している。

インター別で見ると、前年同月比では、すべてのインターの入口・出口で増加しており、前月比では、すべてのインターの入口・出口で減少している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	366,187	2.44	-1.64	142,933	-1.96	-1.30
平 残	371,522	2.89	0.06	143,376	-1.52	0.54

預金は、末残が前年同月比で8,747百万円、2.44%増加し、前月比では、6,125百万円、1.64%減少している。また、平残においては、前年同月比で10,464百万円、2.89%増加し、前月比でも、252百万円、0.06%増加している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で2,872百万円、1.96%減少し、前月比でも1,891百万円、1.30%減少している。平残においては、前年同月比で2,216百万円、1.52%の減少となり、前月比では、784百万円、0.54%の増加となった。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	28,642	-6.86	1.25
交 換 金 額	25,487	-9.41	19.66
不 渡 り 手 形 枚 数	4	-88.57	-76.47
不 渡 り 手 形 金 額	3	-93.18	-95.52

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,110枚、6.86%減少し、前月比では355枚、1.25%増加している。また、交換金額においては前年同月比で2,650百万円、9.41%減少しており、前月比では4,189百万円、19.66%増加している。なお、不渡手形は4枚、3百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は、2件（前年同月4件、前月8件）、負債総額1億円（同8億円、同42億円）となっており、地区別では下越地区で1件（新潟市1件）、中越地区で1件（長岡市1件）発生している。

業種別は、建設業が2件となっており、倒産原因別の状況については、販売不振が1件、その他が1件となっている。倒産件数は、前年同月比で2件、前月比で6件減少しており、負債額1億円以上の倒産が発生しなかったのは、2009年9月以来、4年4ヶ月ぶりである。

県内景気は建設業界の好況感が続いていることに加え、製造（鉄鋼・非鉄・工業）などの動きが活発になっている様子もうかがえるが、増税前の駆け込み需要に対する反動減や、原材料価格の高騰が懸念され不安要素を含んだ推移が続いている。